

れんけい君

発行元：地域医療連携室



睡眠時無呼吸症候群 (SAS)

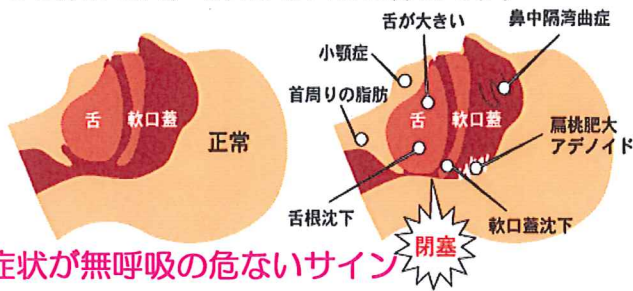
臨床検査技師長 小池 正穂

国家公務員共済組合連合会
舞鶴共済病院
〒625-8585
京都府舞鶴市字浜 1035 番地
TEL 0773-62-2510 《代表》

睡眠時無呼吸ってどんな病気？

10秒以上の無呼吸が睡眠1時間あたり5回以上(平均)起こり、これにより日中の眠気などの症状があれば、睡眠時無呼吸症候群(以下SASという)という立派な病気です。

寝ている間に無呼吸が起こる理由は大きくわけて2つあります。呼吸中枢の異常によって起こる中枢性睡眠時無呼吸タイプ(CSAS)と、気道の塞がるのが原因となる閉塞性睡眠時無呼吸タイプ(OSAS)です。SAS患者さんの9割を占めるのが気道の塞がることによって生じる閉塞タイプで、あお向けになると舌がのどの奥に下がり、気道が塞がり呼吸困難となります。無呼吸が繰り返されることによって深刻な酸素不足が生じ、心臓や全身の血管にかかる負荷は大きくなり、全身に悪影響を及ぼします。眠っていても休めない、それがSASの怖さです。



こんな症状が無呼吸の危ないサイン

激しいイビキは、無呼吸に代表されるSASの症状ですが、他にも口や喉の渇き、口臭、昼間の強い眠気や居眠り、慢性的な疲労感、集中力の低下、やる気の喪失やうつ、起床時の頭痛、勃起不全など多岐にわたります。こういった症状を引き起こす主だった原因が、無呼吸による睡眠の中断や体内・脳の酸素不足です。心臓や血管に負担がかかったり、交感神経・副交感神経のバランスが崩れたりなど、生命を維持するための人体システムに狂いが生じるのです。

本当に怖い現代病



SASと高血圧、心臓病、糖尿病などの生活習慣病との因果関係が最近の研究で明らかにされてきました。健常者とSAS患者さんを比較した場合、高血圧は1.4~2.9倍、夜間心臓突然死は2.6倍、脳卒中・脳梗塞は3.3倍、心不全は2.4倍、糖尿病は4倍、うつ病のリスクは1.4倍みられます。しかも重症のSASを放置しておいたら、9年後には4割の方が心臓病、脳卒中、交通事故などで亡くなっているという驚くべきデータも報告されています。放置しておくると本当に恐ろしい現代病であります。

治療の流れ

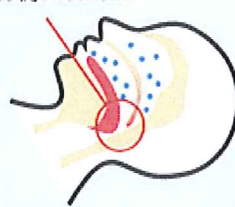
無呼吸を疑われた患者さんは、当院耳鼻科を受診し1泊入院にてSASの検査を行います。SASと診断されますと、CPAP治療(鼻マスクによる陽圧治療)を目的とした検査を行い、SASに対する治療効果と有効な圧設定を測定します。

後日、耳鼻科外来にて治療方針決め、CPAP導入となります。

SASが疑わしく思われた方は、一度かかりつけ医や耳鼻咽喉科の先生にご相談しましょう。

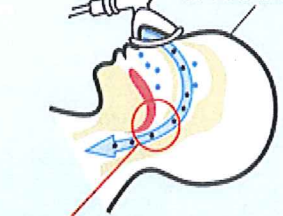
◆無呼吸状態

気道が開いていない



◆CPAP治療(正常呼吸状態)

CPAPからの陽圧



気道が十分に開いている

『かかりつけ医』をもちましょう！

紹介状があれば以下のようなメリットがあります

- 初診にかかる**特定療養費(2,100円)**が不要です。
- 病気の経過や服用中のお薬が判るので治療や診断に役立ち、検査やお薬の重複が防げます。
- 事前に受診予約ができます。

一般内科・血液免疫内科・消化器内科および歯科口腔外科の初診は、他院からの紹介状が必要となります。その他の診療科については、紹介状がなくても診察いたします。ただし、かかりつけ医がある場合は可能なかぎり紹介状をお持ち下さい。